

平成31年度 大田区予算(案)概要



©大田区



平成31年 2月13日
大田区

平成 31 年度予算（案）の編成にあたって

平成 31 年度予算（案）がまとまりました。平成 31 年度は、「大田区基本構想」の中間にあたることから、これまで推進してきた「おおた未来プラン 10 年」の成果を着実なものとするとともに、「大田区実施計画」のもと、行政の継続性を保ちつつ、5 つの重点課題を掲げ、予算を編成いたしました。

出産・子育て・教育では、待機児童対策の強化や「おおた 子どもの生活応援プラン」の推進、小中学校における ICT の活用、機能更新の時期を迎えた校舎の改築や体育館の暑さ対策など、次代を担う子どもたちを、切れ目なく応援してまいります。

また、誰もが、健やかに暮らせる取り組みとして、予防接種事業の拡大、障がい者総合サポートセンターの機能拡充、地域ぐるみのフレイル予防・健康維持など、これまでの取り組みをより一層強化してまいります。

環境、安全・安心分野では、食品ロス削減プロジェクトや、水防災意識の向上のためのマイ・タイムラインの普及啓発、ブロック塀等緊急対策や高齢者の犯罪被害の防止などに対応してまいります。

まちづくり分野では、スクエアを形成する拠点「蒲田－大森－臨海部－羽田空港周辺」の整備をさらに進めるとともに、羽田空港跡地のまちづくりや新空港線の早期整備の実現、国際都市おおた協会の取り組みの充実、全国初の勝海舟記念館の整備など、国際都市おおたにふさわしい魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

また、地域課題の解決にあたっては、多様な主体による連携・協働が重要です。公民連携を進めるとともに、公共施設の改築や、区民協働・生涯学習誌の拡充、地域力応援基金助成事業の再構築を図ることで地域力の礎をソフト・ハード両面から支えてまいります。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連では、ブラジル選手団の事前キャンプの受け入れ、おおたウエルカムボランティア事業の推進とともに、大田スタジアムや青少年交流センター（旧平和島ユースセンター）のリニューアル、森ヶ崎公園の日本サッカー協会公認サイズのピッチの整備など、スポーツ健康都市にふさわしいレガシーを創造してまいります。

こうした考えに立ち、予算規模は、一般会計で 2,818 億 9 千万円余、前年度比約 31 億円、1.1%増の予算といたしました。

本予算（案）を基に、「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の更なる実現を目指して、73 万区民の皆さまの期待に応えることができるよう、着実な区政運営を推進してまいります。

平成 31 年 2 月 大 田 区 長

目 次

1	平成 31 年度予算編成の基本的な考え方	8
2	財政規模	9
3	歳入の状況（一般会計）	10
4 - 1	歳出の状況（一般会計 性質別）	12
4 - 2	歳出の状況（一般会計 目的別）	14
5	特別会計予算の特徴	15
6	基金・特別区債の状況	16
7	大田区の経営改革	17
8	今後の行財政運営	19
9	主な組織の改正について	19
	平成 31 年度 一般会計予算（案）集計表	20
	(1) 歳入（款別）	20
	(2) 歳出（款別）	21
10	事業説明資料	22
	(1) 子育て・教育の充実	
1	私立認可保育所の整備等 実計 重点	22
2	借地を活用した認可保育所等設置支援 新規 実計 重点	23
3	病児・病後児保育の充実 重点	24
4	新生児聴覚検査費用の一部公費負担 新規 重点	25
5	産後ケアの充実（デイサービス型開始） 実計 重点	26
6	大田区きずなメール配信対象年齢の拡大 実計 重点	27
7	予防接種事業の拡大 重点	28
8	校舎の改築（小中学校） 実計 重点	29
9	区立小中学校体育館等の暑さ対策 新規 重点	31

10	中学生英語検定の実施	新規	実計	重点	……	32
11	小学生向けものづくり教育	新規	重点		……	33
12	ICTの活用と教員の長時間労働の解消	実計	重点		……	34
13	不登校児童・生徒への支援体制拡充	重点			……	36
14	おおた 子どもの生活応援プランの推進	新規	重点		……	38
(2) 健康・福祉の充実、環境対策、安全・安心の確保						
1	地域ぐるみのフレイル予防・健康維持	実計	重点		……	39
2	地域包括支援センターの機能強化	実計			……	41
3	成年後見制度の利用促進	実計			……	43
4	若年性認知症の支援	新規	重点		……	45
5	障がい者総合サポートセンター (愛称：さぼーとぴあ)の充実	実計	重点		……	46
6	障がい者施設の生産体制と販売強化	新規			……	47
7	精神障がい者へのアウトリーチ訪問支援	新規	重点		……	48
8	精神障がい者の退院後支援	新規	重点		……	49
9	受動喫煙防止対策	新規	重点		……	50
10	屋外の喫煙対策の取り組み	新規	重点		……	51
11	アスベスト対策				……	52
12	本庁舎公開空地ミストシャワーシステム設置	新規	重点		……	53
13	食品ロス削減プロジェクト	新規	重点		……	54
14	ごみ減量・資源化対策に向けた古布の行政回収	新規	実計	重点	……	55
15	呑川高濃度酸素水浄化施設設置工事及び施設運転	実計	重点		……	56
16	マイ・タイムラインの普及 (水防災意識向上のための普及啓発)	新規	重点		……	57
17	自動ラップ式トイレの新規導入	新規	実計	重点	……	58
18	地区備蓄倉庫の管理	新規			……	59

19	災害時情報通信体制基本計画書作成	新規	60
20	乳児とその保護者を対象とする福祉避難所の追加整備	重点	61
21	災害時医療体制の充実	重点	62
22	自転車盗難防止対策の強化	重点	63
23	特殊詐欺対策	重点	64
24	倒れない・燃えないまちづくりの推進	新規 実計 重点	65
25	空家等対策	実計 重点	67
 (3) 魅力あるまちづくり			
1	公民連携による地域課題解決	新規 重点	68
2	交通事業者連携事業	新規 重点	69
3	池上駅改築支援及び池上地区のまちづくり	実計 重点	70
4	地域力応援基金助成	重点	72
5	蒲田西地区公共施設の整備	新規 実計 重点	73
6	大森西地区公共施設の整備	実計 重点	75
7	田園調布地区公共施設の整備	新規 実計 重点	76
8	図書館 I C タグシステムの整備	新規 実計 重点	78
9	生涯学習センター蒲田の機能充実	重点	79
10	区民協働・生涯学習情報誌の拡充	新規 重点	80
 (4) 空港・交通機能向上、観光・産業振興、多文化共生			
1	羽田空港跡地における成長戦略拠点の形成	実計 重点	81
2	新空港線の整備主体設立及び関連事業	実計 重点	83
3	空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等調査	実計 重点	85
4	勝海舟記念館 開館に向けた取り組み	実計 重点	87
5	シティプロモーションの推進	重点	89
6	M I C E の推進	実計 重点	90
7	「OTA! いちおしグルメ」表彰		91

8	「大田のお土産 100 選」表彰	実計	92
9	(仮称) 大田区産業振興構想策定	新規 実計 重点	93
10	知的財産権 (知財) マッチング	新規	94
11	産業クラスター形成	実計	95
12	IoT 仲間まわしによる中小企業の生産性向上プロジェクト	実計	96
13	海外人材連携構築事業 (OTA TRANSIT)	重点	97
14	スタートアップとものづくり企業の連携創出実証実験	実計 重点	98
15	(仮称) 南六郷創業支援施設の整備	新規 実計	99
16	公園のライトアップ事業	重点	100
17	大田区都市計画マスタープラン改定	新規 実計	101
18	蒲田駅周辺地区の整備	実計 重点	102
19	大森駅周辺地区の整備	実計 重点	103
20	国際都市おおた協会の取り組み	新規 実計 重点	104
(5) 東京オリンピック・パラリンピック、スポーツ推進			
1	ブラジル選手団の事前キャンプ受け入れ	実計 重点	105
2	大会競技種目の普及啓発及び大会気運醸成	実計 重点	106
3	おおたウエルカムボランティア	実計 重点	107
4	新スポーツ健康ゾーンの整備	新規 実計 重点	108
5	大田区青少年交流センター (旧平和島ユースセンター) の開設	新規 実計 重点	111
6	オリンピック・パラリンピック施設周辺道路整備	実計 重点	112
《付属資料》平成 31 年度予算 予算編成過程の公表 113			

- | |
|--|
| <p>※ 事業説明資料については、表示単位未満を四捨五入しています。</p> <p>※ 計数は、原則として表示単位未満を四捨五入により計算しています。</p> <p>※ 端数処理の関係で表の合計が合わない場合があります。</p> <p>※ 新規 新規事業を含む事業には、このマークを表示しています。</p> <p>※ 実計 実施計画を含む事業には、このマークを表示しています。</p> <p>※ 重点 重点課題を含む事業には、このマークを表示しています。</p> |
|--|

本書発行時において元号が改められていないため、元号表記を平成のまま用いています。

元号・西暦早見表

元号	西暦
平成28年	2016年
平成29年	2017年
平成30年	2018年
平成31年	2019年
平成32年	2020年
平成33年	2021年
平成34年	2022年
平成35年	2023年
平成36年	2024年
平成37年	2025年
平成38年	2026年

